

## 第9回学校関係者評価委員会議事録

開催日：平成29年9月28日18時30分～20時05分

開催場所：専門学校 社会医学技術学院 大会議室

出席委員（敬称略）

- 大関健一郎（卒業生・帝京科学大学医療科学部作業療法学科・作業療法士）
- 小川 精二（地域・元東京農工大学事務長）
- 武市 裕貴（就職先・前（一財）天誠会小金井あんず苑副施設長・理学療法士）
- 西村 和美（高等学校・東京都立昭和高等学校進路指導担当）
- 花宮 豊（外来講師・医療法人欣助会 吉祥寺病院・作業療法士）

事務局出席者

- 山田千鶴子（専）社会医学技術学院 学院長
- 遠藤 敏（専）社会医学技術学院 副学院長
- 帯刀 隆之（専）社会医学技術学院 副学院長
- 和島 英明（専）社会医学技術学院 理学療法学科長
- 中村 伴子（専）社会医学技術学院 作業療法学科長
- 清水 茂（専）社会医学技術学院 事務長
- 藤本 英明（専）社会医学技術学院 理学療法学科教員 書記

欠席委員（敬称略）

- 鈴木 茂哉（自治体・小金井市保健福祉部 高齢福祉課長）
- 長浜美智穂（実習地・前久我山病院リハビリテーション科科长・理学療法士）
- 久富 祥生（保護者・株式会社ファンコーポレーション代表）

### 【議事録】

1. 学院長挨拶（山田）

2. 自己評価委員長挨拶（清水）

挨拶および配布資料確認がなされた。新委員として鈴木茂哉委員が紹介された。

学院側として、帯刀副学院長、林キャリア支援室長、和島理学療法学科長が紹介された。

3. 議長の選任（清水）

武市委員に議長を依頼し承諾。以下議事次第に従い議事が進行された。

4. 前回議事録の確認（署名人：武市・花宮委員）

5. 学院の概況報告（清水）

平成28年度当初の在籍学生数は435名で在籍率は90%弱。作業療法学科で定員を下回ったが昨年度より持ち直した。昨年度の国家試験、理学療法学科夜間部で100%、昼間部と作業療法学科で新卒者の全国平均を下回った。また決算報告がなされ財務状況は良好であることが報告された。その他自己評価報告書（大項目）、卒業生・就職先アンケートに関して報告された。

6. 質疑応答

今年度現時点での学生募集の傾向はどうか。(武市)

昨年同様で少し落ち込みがある。特に社会人の応募が減少している。(遠藤)

雇用状況が改善すると医療関係職種への応募が減少する気がする。(武市)

国試合格率 100%は素晴らしい、どのような取り組みを行ったのか(武市)

今までも取り組んでいたが、学院長主導により組織的な取り組みになったかと思う。(帯刀)

問題の難易度が去年と変化したと思う。なので PT は改善したが、OT は悪くなった。(山田)

臨床実習で不合格になる学生は毎年でるのか?(大関)

OT 学科では毎年 2 名程度でる。職員や患者さんとの関係作りができない。また問題解決能力の低さなどが原因となっている印象。(中村)

PT 学科では指導者と学生との関係性で教員の介入が必要な例が増えている。学生の問題としては主体性の低さ・学習ができないなどの問題も大きい。また指導者側にパワハラの意図はないが、学生に対して強い言い方をしたり、軽くたたくような例もあった。指導者も学生もどちらにも問題はある。(和島)

コミュニケーション能力や対人関係などの問題は、留年した 1 年で改善するかというと難しい。2 回目はどのように実習にいてもらうようにしているのか?(大関)

一度目の実習で不足していた点を明確にして、評価方法の問題であれば下の学年の授業に出席させたり、教員の研修先の病院等に連れて行くなどの方法をとった。(中村)

PT 学科では、指導者のやり方の問題であれば別の施設にいけば合格すると考えている。学生側の発達障害などの問題であればなかなか難しく、ひとつひとつのエピソードからこのような方法を実施しようかと暗中模索している。(和島)

よその学校では閉じこもりやフリーターだった人が親に勧められて受験するケースが増えている印象を受けている。(武市)

入学後に学生に聴くと家庭環境や経済状況で問題を抱えた学生が以前より増えた印象がある。(和島)

社医学の偏差値はどれくらいか?(武市)

私学の中では偏差値が高い方の印象を持っている。ぜひ優秀な質の高い学生を集めてやってほしい(武市)

ある有名な公立大学の教員から聞いた話では、学生が来ないと聞いた。PTOT は一般企業と比較して給料が安いし、むしろ、その大学の卒業生として一般企業に入りたいと考えている学生もいる。(山田)

以前からそういう話は聞いたことがある。京都大学にしろ首都大学東京にしろ PT 学科から公務員や民間企業への就職が増えている。最近実習に来た学生はエステの企業に就職したいから PT の資格をとると言っていた。今後はこのような学生もありなのかなと思う。(武市)

教員研修大会でベネッセの人の話では、専門学校に入る学生の偏差値が急激に落ちているとのこと。脱ゆとりや親の収入などで学力の幅がものすごく開いていると聞いた(和島)

ベネッセは、専門学校の分析はあまり得意でない印象を持っている。数字だけで分析している印象がある。学生の中にどこから聞いたのか分からないが、首都大学を卒業しても病院に就職しないと聞き、あえて(偏差値の高い)首都大は受験しないと言う子がいた(西村)

農工大など国立大学では、この 10 年で 1 割予算を削減された。新規管理棟を竣工したが、大変な状況。地方大学はかなり大変なはず。農工大学ではずば抜けて優秀ではないから、素直なので就職後は使いやすいと聞いたことがある。融通がきく動きができるらしい。全国的にみても学力は低下していて農工大でも低下はしているはず。ゲストハウスは経費がかかるので、利用者も少なく閉鎖した。(小川)

就職先の話聞いて驚いてる。かつてはリハビリテーションの職種になるのが前提だった。ただ目的が明確ならば多くの職域に PTOT を学んだ人がいるのは良いことだと思う。ただ大学を出ただけではいけない(花宮)  
国の方でも予防の方にもっとリハビリテーションを用いたいという方向性。子供の傷害予防や会社などでの作業効率をあげるなど様々な活躍の場がある。コミュニケーション能力が高いのは社医学の特徴なので、即戦力になる学生教育ができていのかと思う。(武市)

その就職先アンケートをみると学力はあまり期待されていないのだなという雰囲気を感じられる。むしろ学生相互の関係性が必要な場面を提供したりすることが大切で、現場の教員は国試などもあるから学力をどうにかしようとするが、現場では期待されているのはそっちではないのだと感じる。(山田)

就職したところで、素直に指定された配置・部署ではないと言ってくれる学生の方が使いやすいはず。職員を採用するときには出身大学ではなく人柄をみる。東大のような旧帝大と農工大のような新制大学との違いかと思う。こちらの学生はきちんと挨拶もするので良いかと思う(小川)

他の学校の教員が最近の学生が挨拶をしないと言っていた。キャリア支援室からみるとどうですか(武市)

まずは鍛えるのは入ってから、ということならばそれは知識ではないだろうと思う。就職支援という点からはうちの学生は願書の書き方など全く知らない学生もいるので、まずはそこから指導し始めている(林)

定員を確保することが責務。面接で多少人柄に疑問に思っても入れざるを得ない。どうしたらいいのかと考えると応募倍率を上げるしかないと考えているが、何か人集めの秘訣のようなものがあれば教えて欲しい(大関) 奥義はないが露出の低さがあるので、今まで弱かった東側、埼玉などへの高校訪問に行くなど露出を増やすようにしている。夜間部や社会人に対してはどのようにするかは試行錯誤している。(遠藤)。

OT学科はなんとか増加した。ターゲットは経済的に大変そうな学生と絞って、奨学金を出してくれるような病院を増やして、そのようなパンフレットを都立高校など回るようにした。それを始めたのが3、4年前でようやく身を結んだと思っているが、文科省でも返済不要の奨学金をはじめたので次はどうしようかと思っている。(山田)

病院からの奨学金を利用する学生は学年で3~4名程度ですか?(大関)

一年生で希望しているのは2~3名程度、ただ一年生だと学力面の保証がないので、前期の成績を確認してから病院での奨学金を勧めるようにしている(中村)

高卒AO入試をOT学科のみが実施しているが学力に不安を持っていたので東進ハイスクールの入学前教育を導入した。開始時は全国平均の半分程度だったが、全国平均程度になった。入学後も社会人などがよく面倒をみている。とても活性化している。(中村)

実際の病院の奨学金パンフレットを持って行くのか?(大関)

持って行きます。たぶん高校の先生もそれで信用してもらっているのでは(山田)

高校を出た時には学力が低くても、やる気があるならば伸びる子がいることがここ数年の取り組みで分かってきた(山田)

それはとても感じているので面接時にモチベーションを確認するようにしている(中村)

学習方法や習慣がわかっていないままの学生は多い。だから、やりたいことが決まるとものすごく良い方向に化ける子はすごく伸びる子がいる(西村)。

周りが明確な目標を持っている、プライドを持っているので、嫌々来た学生ばかりではないので変わりたい子にはとても良い環境だと思います。今の学生は、学びたいのだけど経済状況が許さないから就職をする、と思っている学生も多い。進路が就職になるとその時点でハローワークに登録する。時期としては2年3学期~春休みで親子で話して、就職か進学かを決定させる高校が多い。もし(奨学金などで)お誘い頂けるのは2年3学期や春休みがちょうどよい(西村)

関東リハビリテーション専門学校夜間部作業療法学科が3年制と聞いている。もしかしたら流れているのかも(大関)

3年制は授業早くに始めて、土曜開講、実習短くするしかない。3年制を検討したことはあるが、大変だと思う。(山田)


協会や国は最終的に4年制にしたい方向性なので、3年制は厳しいと思う。(中村)

先程質問のあった偏差値はインターネット上で理学療法学科が59~60あたり、作業療法学科が56、高いから敬遠されるということも聞かれる(清水)

7. 平成 29 年度自己評価報告書についての報告（清水）

報告書の評価のつけ方について説明がされた。12 月 31 日までに返送してもらい、集計後 3 月にまとめたものを審議することで了承された。

平成 30 年 3 月 / 日

議事録署名人： 小川 精 

議事録署名人： 花宮 豊 